



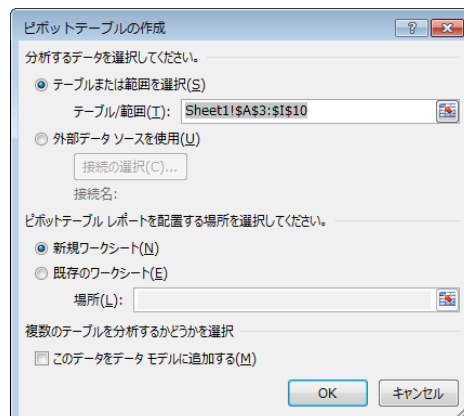
## 3. クロス集計 (1)

「営業所によって、どのような商品が何個売れているか」を、クロス集計してみましょう。

①説明変数、目的変数、集計項目を決めます。今回は、以下のようになります。

- ・説明変数＝営業所
- ・目的変数＝商品
- ・集計項目＝売り上げた数量

②2で作成した表内の、どこかにカーソルを置きます。「挿入」タブ→「ピボットテーブル」をクリック。  
「新規ワークシート」が選ばれていることを確認して、「OK」。



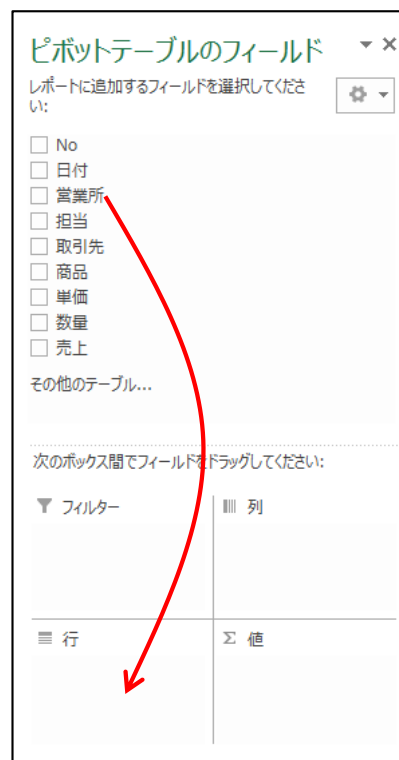
③「ピボットテーブルのフィールド」ウィンドウが、開きます。「営業所」項目を、行フィールドにドラッグ&ドロップ。

④同様に、「商品」項目を、列フィールドにドラッグ&ドロップ。

⑤同様に、「数量」項目を、値フィールドにドラッグ&ドロップ。


⑥下図のような集計表が、完成します。

合計 / 数量	列ラベル ▼			
行ラベル ▼	グローブ	バット	ボール	総計
横浜		18		18
札幌	18	7		25
仙台	12		20	32
総計	30	25	20	75



⑦A3・A4・B3セルを、右図のように書き換えましょう。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3	売上数	商品 ▼			
4	営業所 ▼	グローブ	バット	ボール	総計
5	横浜		18		18
6	札幌	18	7		25
7	仙台	12		20	32
8	総計	30	25	20	75

⑧項目を移動したいときは、行または列を選択して、ドラッグします。たとえば、営業所の並びを「札幌・仙台・横浜」の順にしたいときは、「横浜」行を選択→選択範囲の境界をマウスオンして  

 になったら、「仙台」の下にドラッグします。

売上数	商品 ▼			
営業所 ▼	グローブ	バット	ボール	総計
横浜		18		18
札幌	18	7		25
仙台	12		20	32
総計	30	25	20	75

## 4. クロス集計（2）

「営業所によって、どの取引先にどれくらい売り上げているか」を集計してみます。

①説明変数、目的変数、集計項目を決めます。今回は、以下のようになります。

- ・説明変数＝営業所
- ・目的変数＝取引先
- ・集計項目＝売上

②新規ワークシートに、クロス集計表を作成してみましょう。下図のようになりましたか。

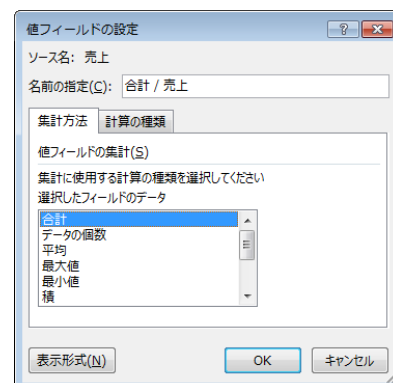
合計 / 売上	列ラベル						
行ラベル	ヤクルト	家電	広島物流	阪神商事	大洋機器	中日物産	総計
横浜		32000		40000			72000
札幌					123000	76000	199000
仙台			138000				138000
総計		32000	138000	40000	123000	76000	409000

③下図のように、修正してみましょう。

売上高 営業所	取引先 阪神商事	中日物産	広島物流	大洋機器	ヤクルト	家電	総計
札幌		76,000		123,000			199,000
仙台			138,000				138,000
横浜	40,000					32,000	72,000
総計	40,000	76,000	138,000	123,000		32,000	409,000

※うまくいかない場合

（１）売上が、合計ではなく、データ数になってしまう。  
 値フィールドのところが「データの個数／売上▼」となっていないですか。その場合は、▼をクリック→「値フィールドの設定」で、「合計」に修正してください。



（２）売上が、まったく表示されない。

ピボットテーブルは、集計作業を続けておこなったり、データベースを修正したりすると、正しく反映しなくなります。この場合は、「更新」をおこないます。

クロス集計表のどこかにカーソルを置いて、「分析」タブ→「更新」。